

(仮称) 寄居PA美里・深谷スマートIC検討経緯

- 位 置：関越自動車道寄居パーキングエリア（寄居PA）
（本庄児玉ICから6.2km、花園ICから7.3km）
- 形 式：PA接続型インターチェンジ

○ 経 緯

平成16年12月30日 地元選出衆議院議員が地元3町（寄居町・岡部町・美里町）に呼びかけ

平成17年 5月24日 3町の首長がスマートICを設置する方針を合意

（平成18年 1月1日 旧岡部町が深谷市と合併）

平成19年 4月26日 関東地方整備局スマートIC相談会

平成19年12月 4日 関東地方整備局スマートIC相談会

平成20年 1月31日 1市2町勉強会で、社会実験申請に向けた関係機関からなる研究会設置の提案あり

平成20年 2月29日 深谷市・寄居町・美里町の首長が「確認書」に調印

平成20年 4月 8日 国、県、会社、市町による第1回「社会実験研究会」開催

平成20年 4月22日 関東地方整備局相談会

平成21年 1月26日 国、県、会社、市町による第2回「社会実験研究会」開催

（平成21年 2月 スマートICに係る制度実施要綱の改正）

平成21年度 ～ あらたな実施要綱に基づき、本格運用に向けた検討を開始。
（現在までに、国・県・会社・市町による勉強会を計12回開催）

平成21年 4月23日 関東地方整備局スマートIC相談会

平成22年 5月13日 関東地方整備局スマートIC相談会

平成22年12月27日 地区協議会準備会

平成23年 2月25日 地区協議会

（仮称）寄居PA美里・深谷スマートインターチェンジの 設置に係る地区協議会を開催します

深谷市、寄居町、美里町では、関越自動車道寄居パーキングエリアにおいて、ETC専用のスマートインターチェンジの設置を計画しています。このたび、スマートインターチェンジ設置に向けた地区協議会を下記のとおり開催します。

記

1. 会 議 名 （仮称）寄居PA美里・深谷スマートIC 地区協議会

2. 日 時 平成 23 年 2 月 25 日（金） 午後2時

3. 場 所 上柴地区複合施設3階「キララ上柴」内
上柴生涯学習センター・上柴公民館 大会議室
（ 深谷市上柴町4丁目2番地6 ）

※ ショッピングセンター「アリオ深谷」内の施設です。

4. 取材対応 取材される場合は事前にご連絡をお願いします。なお、会議中の取材はできませんが、会議冒頭の頭撮りは可能です。

スマートインターチェンジとは？

ETC専用のインターチェンジで、高速道路の本線やサービスエリア・パーキングエリア等から乗り降りができるように設置されるものです。スマートインターチェンジは、通常のインターチェンジに比べて建設・管理費用を抑制することができ、また、高速道路の有効活用による地域活性化としても期待されています。

地区協議会とは？

スマートICを設置するにあたって、国のスマートIC制度実施要綱に基づき設置するものです。市町・県・国・高速道路株式会社・学識経験者等により構成され、スマートインターチェンジの設置に向けた検討・調整を行うとともに、インターチェンジ供用後も管理・運営形態等について定期的にフォローアップすることを目的としています。

【問い合わせ先】 （仮称）寄居PA美里・深谷スマートIC 事務局
児玉郡美里町役場 建設環境課 高橋、安齋
TEL: 0495-76-5134

(仮称) 寄居 PA 美里・深谷スマート IC 地区協議会委員名簿

団 体 名	職 名	備 考
美里町	町長	会 長
深谷市	市長	
寄居町	町長	
国土交通省 関東地方整備局	道路計画第二課長	
	大宮国道事務所長	
東日本高速道路（株）	関東支社 総合調整部 企画調整課長	
	関東支社 管理事業部 事業統括課長	
	関東支社 所沢管理事務所長	
埼玉県	県土整備部 道路政策課長	
	県土整備部 熊谷県土整備事務所長	
	県土整備部 本庄県土整備事務所長	
埼玉県警察	警察本部 交通部 交通規制課長	
学識経験者	埼玉大学大学院教授	
住民代表	深谷市本郷自治会長	
	深谷市今泉自治会長	
	寄居町用土区長会長	
	美里町甘粕区長	

（仮称）寄居 PA 美里・深谷スマート IC について

◇ スマート IC の計画概要

設置場所 : 関越自動車道寄居パーキングエリア
運用形態 : ETC 車載器を搭載した全車種対応、24時間
関係市町 : 深谷市、寄居町、美里町



- 花園 IC～本庄児玉 IC 間の距離は 13.5km で、関越道で最も長くなっています（関越トンネルを含む水上 IC～湯沢 IC 間を除く）。
- 寄居パーキングエリアは、花園 IC と本庄児玉 IC のほぼ中間に位置しています。

◇ スマート IC の効果

効果１ 地域経済の活性化と雇用強化

当該 IC 周辺には既に多くの企業が進出しており、また、寄居町へのホンダ新工場の操業（2013 年）に伴い、関連企業を含めた当地域への企業進出が期待されています。このチャンスを最大限に活用するため、高速道路へのアクセス性を活かした企業誘致により、地域経済の活性化と雇用の強化を図ります。

効果２ 交通利便性の向上

花園 IC と本庄児玉 IC 間の距離は 13.5km と長く、ほぼ中間に位置する寄居パーキングエリアへのスマート IC の設置により、地域住民等の利便性の向上及び物流の効率化を図ります。

効果３ 周辺道路の渋滞緩和

スマート IC の設置により車両の分散が図られ、周辺幹線道路の渋滞緩和を図ります。

◇ 今後のスケジュール

- 地区協議会での調整・検討結果を取りまとめて実施計画書を作成し、東日本高速道路株式会社等へ提出します。
- その後、国土交通大臣へ高速道路の連結許可申請を行います。